



提供：松竹株式会社

企画展



# 小津安二郎 西日本へのまなざし

令和8年7月1日(水)～9月13日(日)



## 松阪市立歴史民俗資料館

(2階 小津安二郎松阪記念館)

三重県松阪市殿町1539番地(松坂城跡内) TEL&FAX 0598-23-2381



**入館料** 一般/150円・6歳以上18歳以下/70円

**開館時間** 9:00～16:30

**休館日** 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌平日

**アクセス**

電車：近鉄/JR 松阪駅下車徒歩約15分

お車：松阪ICから約10分

市民病院前の松阪市駐車場(無料)をご利用ください。

※藍の縞模様は、伝統工芸品の「松阪木綿」柄です。

映画監督・小津安二郎（1903～1963）は、独特の低いカメラアングルを用いて家族の物語を撮り続けた巨匠であり、その映画は現代においても高い評価を受けています。東京の下町・深川で松阪商人の家系に生まれた小津は、父の故郷である松阪で十年間を過ごしたのち東京蒲田にあった松竹蒲田撮影所に入社し、東京を舞台にした作品を多数手掛けました。代表作である『東京物語』をはじめ、タイトルだけを見ても『東京』と付けられた映画は5作品に及びます。

では、そのような小津映画で、西日本はどのように描かれたのでしょうか。たとえば、『麦秋』、『宗方姉妹』、『東京物語』では、東京と奈良、東京と京都、東京と尾道のように『生活の場である東京と故郷』という関係になっています。また、『浮草』では志摩方面と推測される海沿いの町を、『小早川家の秋』では京都を舞台に選び、ロケも行われました。とくに『宗方姉妹』、『浮草』、『小早川家の秋』の3作品は、松竹の監督であった小津が松竹外で撮影した映画としても、異彩を放っています。

本展示では、全国小津安二郎ネットワーク副会長・築山秀夫氏のご協力のもと、氏のコレクションから『宗方姉妹』『浮草』『小早川家の秋』を中心に、関係する貴重な品々を展示いたします。小津が西日本に込めた思いや視線にふれる機会をお楽しみください。



『浮草』ポスター（1959）築山秀夫氏蔵



『新東宝 宗方姉妹』（1950）築山秀夫氏蔵



『浮草』ロケーション撮影で志摩に滞在する小津安二郎  
提供：松竹株式会社



『小早川家の秋』ポスター（1961）  
築山秀夫氏蔵

## ～企画展特別講座～ 「小津安二郎が描く西日本」

日時：令和8年9月13日（日） 14時～15時  
会場：豪商のまち松阪 観光交流センター  
2階 シアタールーム（松阪市魚町1658番地3）  
講師：築山秀夫氏（全国小津安二郎ネットワーク副会長）  
無料／申込不要／定員50名程度

※展示内容および展示期間は、予告なく変更となる場合がございます。  
あらかじめご了承ください。

主催：松阪市  
協力：オフィス小津、松竹株式会社 展示協力・監修：築山秀夫



松阪市立歴史民俗資料館  
（2階 小津安二郎松阪記念館）

〒515-0073 三重県松阪市殿町1539  
TEL&FAX 0598-23-2381